

# 第147回大会

# 日本語学会

The Linguistic Society of Japan

●会長：梶 茂樹 ●大会運営委員長：藤代 節 ●大会実行委員長：武内 紹人

期日 2013年11月23日(土)・24日(日)

会場 神戸市外国語大学

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

Tel: 078-794-8161 (外国学研究所)

Fax: 078-794-8160 (大会実行委員長 武内紹人宛)

Email: lsj147kcufs@gmail.com

共催:



Kobe City University of Foreign Studies  
公立大学法人 神戸市外国語大学

大会1日目 11月23日(土)

13:00-18:00 ○ 口頭発表

18:15-20:15 ○ 懇親会

大会2日目 11月24日(日)

10:00-12:00 ○ ワークショップ

11:30-12:50 ○ ポスター発表

13:00-13:20 ○ 会長挨拶・開催校挨拶・学会賞授賞式

13:20-16:30 ○ 公開シンポジウム

## ■ 公開シンポジウム

『日本語研究とその可能性 —音韻・レキシコン／語彙・文法を中心に—』

【企画・司会】益岡 隆志 (神戸市外国語大学)

田中 伸一 (東京大学)

濁りの表示と不透明性 —2種類の有声表示による透明化—

高山 知明 (金沢大学)

個別言語的視点から見た日本語の形態音韻論 —連濁と濁音化、語頭濁音形—

由本 陽子 (大阪大学)

「名詞+動詞」型複合語の統語範疇と意味カテゴリー

斎藤 倫明 (東北大学)

漢語の分類を考える —複合字音語基分類再考—

堀江 薫 (名古屋大学)

言語類型論から見た日本語文法研究の可能性と挑戦課題 —主節と従属節の相互作用を中心に—

野田 尚史 (国立国語研究所)

世界の言語研究に貢献できる日本語文法研究とその可能性

—「する」言語と「なる」言語、高コンテキスト言語と低コンテキスト言語の再検討を中心に—